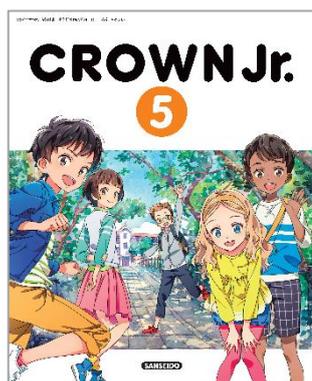


令和6年度版 小学校外国語教科書

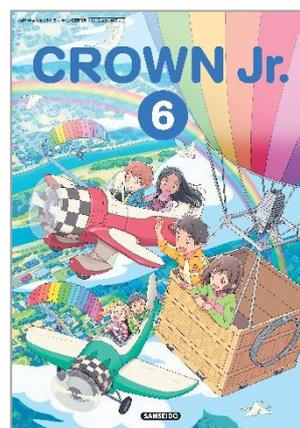
# CROWN Jr.

## 移行措置資料

令和5年度 5年生  
令和2年度版 CROWN Jr. 5



令和6年度 6年生  
令和6年度版 CROWN Jr. 6



### CONTENTS

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. キャラクター.....               | 2 |
| 2. 構成の変更 Story Time .....    | 3 |
| 3. 言語材料.....                 | 3 |
| 4. 新設コーナー ABC Fun Box .....  | 5 |
| 5. Sound Chant のカリキュラム ..... | 6 |
| 6. 会話の継続のカリキュラム .....        | 7 |
| 7. 「聞くこと」の思考・判断・表現の指導.....   | 8 |
| 8. 自己調整のカリキュラム .....         | 8 |

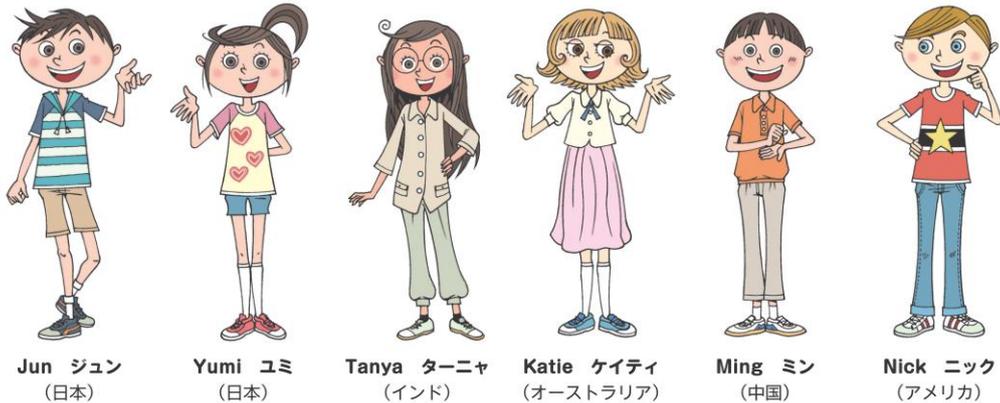
#### 教授用資料

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しております。

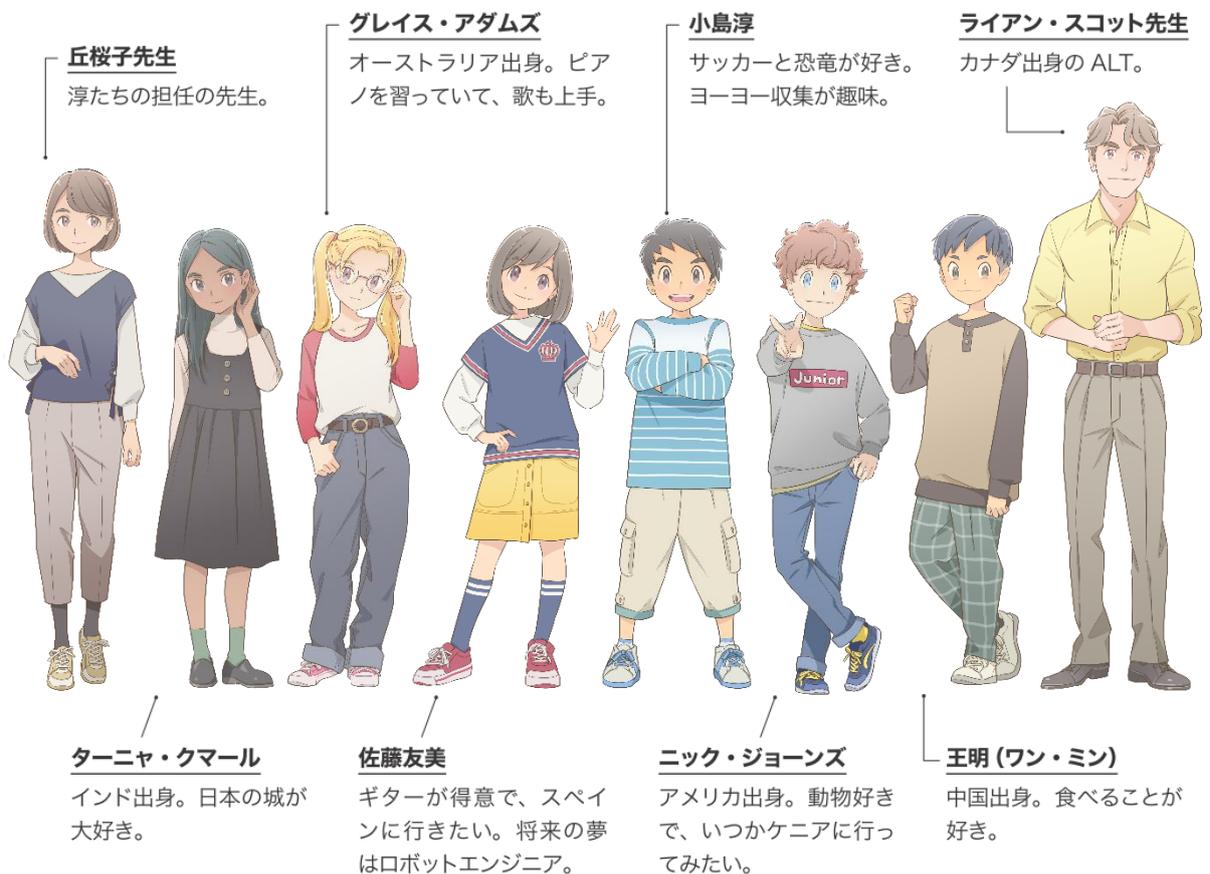
## 1. キャラクター

- イラストが新しくなりました。
- ケイティの名前がグレイスに変わりました。
- 担任の先生とALTの先生のキャラクターが増えました。

### 令和2年度版 メインキャラクター



### 令和6年度版 メインキャラクター



## 2. 構成の変更 Story Time

- 令和2年度版の「Story」は令和6年度版では「Story Time 世界のおはなし」、「Enjoy Reading」は「Story Time ケンの冒険」として、Lessonの中には含めず、ユニット末に配置しました。

### 移行措置のポイント

「Story Time ケンの冒険」は全5話のオリジナルストーリーで、5年生に2話を収録しています。1話完結のため、第1話、第2話を未習でも英語の学習としては支障ありませんが、楽しんで読むためにも、第3話を学習する前に第1・2話を取り上げておくことをおすすめします。その際は、読むことの指導をおこなうよりも、あくまでも第3話をより楽しむために大まかな内容に触れる程度にとどめておくといよいでしょう。

- ▶ 第1話、第2話の紙面、指導案、ワークシートを、ことまな学校サポートサイトに載せています。紙面とワークシートについては、必要に応じて児童分をコピーの上、配布してお使いください。

## 3. 言語材料

- 言語材料の配置や、基本とする表記に一部変更があります。

### 移行措置のポイント

令和6年に6年生となった児童の場合、2年間で扱う主な言語材料は次のページの表の通りです。一部重複や変更などのため、指導内容の変更や指導の際の留意が必要な箇所があります。

また、語彙については、別冊絵辞典 My Dictionary を活用することで、移行にともなう単語・連語の習熟度のギャップを軽減できます。

### 移行措置が必要な箇所一覧

- ① 表現の変更（英語で言ってみよう、Try This is me!）：My birthday is on....→ My birthday is....

令和2年度版教科書では、自分の誕生日を伝える表現として、My birthday is on....を基本表記としていました。しかし、近年前置詞 on を省略した My birthday is....の表現が主流になってきていることを踏まえ、令和6年度版では My birthday is....を基本として扱っています。前置詞 on はあってもなくても間違いではありませんので、児童の実態に応じて、どちらで指導するのかが選択してください。

- ② 学習内容の重複 (Try 道案内)

令和2年度版教科書では5年生で扱っていた「Try 道案内」を令和6版教科書では6年生に配置したため、そのままでは学習内容が重複します。「Try 道案内」は扱わず、2時間分を代わりに「Story Time ケンの冒険」の第1話、第2話に担当することをご提案します。

- ③ 未習表現 (Lesson 6)：He/She is 性格.

令和2年度版の5年生では未習の表現です。Lesson 6 ではリスニング音声に出てくるのみで、児童の発話までは求めていないため、扱わないままでも支障はありませんが、必要に応じて別冊 My Dictionary 11ページ「性格・特徴」を見せるなどして、語彙の確認をおこなってください。

2年間で扱う主な言語材料

令和2年度版 CROWN Jr. 5

|              |  |
|--------------|--|
| Lesson 1     | I have....<br>I like....<br>Do you have/like...?<br>My birthday is in....<br><b>My birthday is on....</b><br>My name is....<br>I am....<br>Nice to meet you.     |
| Lesson 2     | I can.... / I can't....<br>Can you...?<br>Yes, I can. / No, I can't.<br>How about you?   |
| Lesson 3     | He/She is....<br>Is he/she...?<br>Yes/, he/she is.<br>No, he/she is not.<br>He/She can....<br>He/She is good at....<br>This is....<br>He/She is <b>my hero</b> . |
| Lesson 4     | What time is it?<br>It's 時間.<br>I (生活動詞)... at (時間).<br>What time do you...?   |
| Try<br>世界の時差 | It is...a.m./p.m.  |
| Lesson 5     | (It is) On (曜日 s).<br>I have (教科など).<br>I (一般動詞)... on (曜日 s).   |
| Lesson 6     | Where is...?<br>It is in (場所).<br>(もの) is on / in / by / under....<br>You can....  |
| Try<br>道案内   | <b>Where is...?</b><br><b>Go straight for... blocks.</b><br><b>Turn left/right at....</b><br><b>You can see it on your left/right.</b>                           |
| Lesson 7     | I want to go to....<br>I want to (一般動詞)....<br>Where do you want to go?<br>How about you?  |

令和6年度版 CROWN Jr. 6

|                    |   |           |
|--------------------|---|-----------|
| 英語で言ってみよう          | <b>My birthday is....</b><br><b>I like....</b><br>I can....<br>I 一般動詞 on 曜日.<br>I want to....<br>He/She is....                              | ① 表現の変更   |
| Lesson 1           | We are....<br>We like....<br>We can....<br>We want to....   |           |
| Lesson 2           | We have 行事 in 月・季節.<br>We....<br>It is 形容詞.<br>We have/don't have 施設・自然 in our town.  |           |
| Try<br>道案内         | <b>Where is...?</b><br><b>Go straight for... blocks.</b><br><b>Turn left/right at....</b><br><b>You can see it on your left/right.</b>      | ② 学習内容の重複 |
| Lesson 3           | I went to....<br>I saw/ate/enjoyed....<br>(How was it?) - It was 形容詞.   |           |
| Lesson 4           | It is/was 形容詞.<br>It is/was 名詞.   |           |
| Lesson 5           | What is your best memory?<br>My best memory is 学校行事.<br>We went /saw/ate/cleaned/climbed/ played など....<br>It was 形容詞.                      |           |
| Try<br>買い物         | What would you like?<br>I'd like....<br>How much is it?<br>It's...dollars.<br>Here you are. Thank you.                                      |           |
| Lesson 6           | He/She is 職業.<br>He/She can....<br><b>He/She is 性格.</b><br>I want to be 職業.<br>I want to....<br>I am good at....<br>What do you want to be? | ③ 未習表現    |
| Lesson 7           | I want to study 教科.<br>I want to join 部活動.<br>I want to....   |           |
| Try<br>This is me! | My name is....<br><b>My birthday is....</b><br>I am good at....<br>I like....<br>My best memory is....<br>I want to....                     | ① 表現の変更   |

## 4. 新設コーナー ABC Fun Box

- アルファベットの「読むこと」「書くこと」を中心に指導する「ABC Fun Box」を新設しました。
- 2学年で体系的に「読むこと」「書くこと」を指導します。

### 移行措置のポイント

「読むこと」「書くこと」の指導は令和2年度版の5年生の教科書でもスモールステップでおこなっているため、上記のカリキュラムの5年生の分を未習のまま6年生に進んでも問題ありません。心配があれば、指導書の「⑦ 活動アイデア集」付属のワークシートを使うなどして指導をおこなってください。

### 令和6年度版 ABC Fun Box のカリキュラム

| 学年 |              | カリキュラム  |
|----|--------------|---|
| 5年 | 1            | ・アルファベットの大文字・小文字の名前を聞いて、どの文字かがわかる。また、その文字を読んだりなぞったりする。                      |
|    | 2/1・2<br>まとめ | ・単語の始まりの音を表す文字がわかる。<br>・大文字・小文字をなぞる。  |
|    | 3            | ・単語と、その意味を表す絵を結びつけることができる。<br>・文字の名前が読まれるのを聞いて、大文字 A～M を書く。                 |
|    | 4            | ・単語の始まりの音を表す文字を書くことができる。<br>・文字の名前が読まれるのを聞いて、大文字 N～Z を書く。                   |
| 6年 | 1            | ・絵をたよりに、単語を読むことができる。<br>・文字の名前が読まれるのを聞いて、小文字 a～i を書く。                       |
|    | 2            | ・絵をたよりに、単語を並べて文を作ることができる。<br>・文字の名前が読まれるのを聞いて、小文字 j～r を書く。                  |
|    | 3            | ・絵をたよりに、単語を並べて文を作ったり、文を並べて文章を作ったりすることができる。<br>・文字の名前が読まれるのを聞いて、小文字 s～z を書く。 |

## 5. Sound Chant のカリキュラム

- Sound Chant のカリキュラムが変わりました。5年生では a~z を一通り扱い、6年生では混同しやすい音の組み合わせを扱います。

### 移行措置のポイント

カリキュラムの変更に伴い、一部、6年生で扱う機会がない文字が4つあります（下記の表の太字の文字）。ことまな学校サポートサイトで令和6年度版5年生の Sound Chant の音声を提供していますので、授業で時間が数分余った際などに扱ってください。

### Sound Chant のカリキュラム

- ※**太字**は、令和6年度版初年度の6年生では学習の機会がないため、取り立てて学習が必要なもの。
- ※下線は、令和6年度版初年度の6年生の4月では未習だが、その後6年生の教科書内で学習をおこなうもの。

| 学年 | レッスン     | 令和2年度版         | 令和6年度版                                   |
|----|----------|----------------|--|
| 5年 | Lesson 1 | ABC Song       | ABC Song                                 |
|    | Lesson 2 | ABC Chant      | ABC Chant                                |
|    | Lesson 3 | p, b, h        | a, b, <b>c</b> , d                       |
|    | Lesson 4 | t, d, a        | e, <u>f</u> , <b>g</b> , h, i, j         |
|    | Lesson 5 | s, z, i, e     | <u>k</u> , l, <u>m</u> , <u>n</u> , o, p |
|    | Lesson 6 | x, r, o        | <b>q</b> , r, s, t, u, <u>v</u>          |
|    | Lesson 7 | ch, j, u       | <b>w</b> , x, <u>y</u> , z               |
| 6年 | Lesson 1 | w, f, v        | a, u, e, o                               |
|    | Lesson 2 | m, n           | i - y / p - b / t - d                    |
|    | Lesson 3 | ng, c          | s - z / ch - j / f - v                   |
|    | Lesson 4 | l, y           | k - g / th [θ] - th [ð]                  |
|    | Lesson 5 | k, g           | th [θ] - s / m - n / n - ng              |
|    | Lesson 6 | f, q           | th [ð] - z / r - l / b - v               |
|    | Lesson 7 | th [θ], th [ð] | s - sh / h - f                           |

## 6. 会話の継続のカリキュラム

- 「話すこと [やり取り]」を全レッスンの中心的な活動に位置づけ、会話の継続のカリキュラムを設定しました。
- ・ 令和2年度版ではレッスンの終末に向かって児童同士での「話すこと [やり取り]」の活動を傾斜的に設定していましたが、令和6年度版ではレッスンの毎時に児童同士で意見を伝えたり、やり取りしたりする活動を設定しています。レッスンのゴールの活動は、必ず「話すこと [やり取り]」の言語活動をおこないます。
- ・ Small Talk をレッスンの奇数時に設定し、5年生では指導者と児童とのやり取りを、6年生では児童同士のやり取りを設定しています。
- ・ いずれにも、会話を継続させるための方略を設定し、段階を踏んで習熟していくことをめざしています。

### 移行措置のポイント

下記の表の5年生の会話の継続のカリキュラムも、少しずつ段階を踏んで6年生で指導してください。

令和6年度版 会話の継続のカリキュラム

| 学年 | ユニット   | カリキュラム（例の下線部は該当箇所）  |
|----|--------|---|
| 5年 | Unit 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞かれたことに答える。<br/>（例）A: When is your birthday? B: <u>My birthday is October 31st.</u></li> <li>・ わからないときに聞き返す。<br/>（例）A: Do you swim? B: <u>Sorry?</u> A: Do you swim?</li> <li>・ Oh や Wow など、感嘆詞で相槌をうつ。<br/>（例）A: I like basketball. B: <u>Oh!</u></li> </ul> |
|    | Unit 2 | （5年生 Unit 1 のものに加えて） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の発話に対して、形容詞1語で感想を言う。<br/>（例）A: I can run fast. B: <u>Great!</u></li> </ul> ※相槌は感嘆詞以外も使う。  |
|    | Unit 3 | （5年生 Unit 1, 2 のものに加えて） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の言ったことを繰り返して理解していることを示す。<br/>（例）A: I want to go to Italy. B: <u>Oh, Italy!</u></li> </ul>  |
| 6年 | Unit 1 | （5年生のものに加えて） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連する質問を加えて話題を広げる。<br/>（例）A: We have New Year's Day in January.<br/>B: <u>What do you do on New Year's Day?</u></li> </ul>   |
|    | Unit 2 | （6年生 Unit 1 までのものに加えて） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の話題に乗り自分のことをつけ加えたり感想を言ったりする。<br/>（例）A: I ate shaved ice.<br/>B: Oh, you ate shaved ice! <u>I like shaved ice.</u></li> </ul>  |
|    | Unit 3 | 6年 Unit 2 までのものを適切に使っている。   |

## 7. 「聞くこと」の思考・判断・表現の指導

- 「聞くこと」の思考・判断・表現の指導内容を変更しました。

### 移行措置のポイント

令和2年度版でも指導はおこない、チェックタイム（レッスン末テスト）、チャレンジタイム（ユニット末テスト）で出題しています。したがって、5年生の内容を取り立てて指導する必要はありません。6年生で指導する内容は、指導案で詳しく提案をしているのでご参照ください。

### 令和6年度版 「聞くこと」の思考・判断・表現の指導

| 学年 | 思考・判断・表現  |
|----|---|
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話されている順序がわかる。</li> <li>・話していたこと（トピック）がわかる。</li> <li>・聞き取った情報を整理できる。</li> </ul>                |
| 6年 | （5年生のものに加えて） <ul style="list-style-type: none"> <li>・話者がいちばん伝えたいこと（メインアイデア＝要点）がわかる。</li> <li>・目的や場面、状況に合わせて具体的な聞き取ることができる。</li> </ul> |

## 8. 自己調整のカリキュラム

- 主体的に学習に取り組む態度を、「粘り強さ」と「自己調整」に整理し、自己調整はふりかえりの記述内容で評価をします。

### 移行措置のポイント

5年生の自己調整のカリキュラムを6年生開始時点で取り立てて指導する必要はありません。レッスンのふりかえりシートに「ふりかえりのポイント」として5年生のカリキュラムが提示されているので、毎時のふりかえりの際に参照させて記述させるようにしてください。

### 令和6年度版 自己調整のカリキュラム

| 学年 | ユニット   | カリキュラム                                       |
|----|--------|--|
| 5年 | Unit 1 | ・目的意識をもって言語活動に取り組んでおり、自分のがんばりたいことを自覚している。    |
|    | Unit 2 | ・目的を達成できたかや、どんなことができたかを自覚している。               |
|    | Unit 3 | ・自分の課題を認識し、次にどうすればよいかを自分で決めて取り組んでいる。         |
| 6年 | Unit 1 | ・目的を達成できたかどうかや自分の課題を自覚しており、次に取り組みたいことをもっている。 |
|    | Unit 2 | ・目的を達成できたかどうかを自覚し、目的の達成につながった学びの過程を認識している。   |
|    | Unit 3 | ・自分の力が伸びたかどうかを自覚し、なぜ伸びたかを認識している。             |